



Title	阪大法学 54巻 3号 表紙／目次
Author(s)	
Citation	阪大法学. 54(3)
Issue Date	2004-09-30
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/55060
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

阪大法学

論 説

- 「転換」法理についての覚書 ……………平田 健治… 1
フランスの刑事和解（二・完） ……………島岡 まな… 31
ADRの「共通的な制度基盤」整備の問題点
——裁判外紛争解決の柔軟で多様なあり方をめぐって—— …福井 康太… 57
明治期における刑事事件と未成年者に関する一考察
——司法省調査部『刑事判決書集成』の分析を通じて——
……………田中亜紀子…105
新たな量刑事情の発生と弁論の再開 ……………島田 良一…135
わが国における大臣個別責任に関する一考察
——憲法六六条三項の連帯責任との関係—— ……………田中 孝和…159
フランス債務法におけるヨーロッパ人権条約の影響
——条約第八条による契約内容の修正—— ……………福田健太郎…189

特別寄稿

- ドイツ近世都市ケルンの刑法
——特に都市経済の秩序を害する犯罪及び
都市社会の秩序を害する犯罪について—— ……………林 毅…219

翻 訳

- 会社の法的地位に関する ECJ アプローチの再構成
——欧州司法裁判所の四つの判決を比較して——
……………ベンヤミン・ニックスドルフ…249
福井 康太／訳
ヨーロッパ法域と第三国 ……………ニキタス・ハジミハイル…281
松田岳士・長田真里／共訳

第54巻 第3号

(2004年9月)

(通巻第 231 号)

大阪大学法学会